

福島県

みんながつながる

# 家庭教育支援チーム

～ 地域でつながる家庭教育応援事業 ～



すべての保護者が安心して家庭教育を行うためには、学校や行政機関とは異なる身近な地域住民としての立場から、家庭をサポートしていくことが効果的です。福島県教育委員会では、県内全域で家庭教育支援チームが活動を展開できるようにすることを目指しています。

## 家庭教育は、全ての教育の出発点です。

- 家庭教育支援チームは、地域の人材の力を生かして、親の学びや育ちを応援するとともに、家庭と学校・地域をつなげることで、家庭教育の充実をお手伝いします。
- 新たな家庭教育支援チームがつくられたり、チームの情報を共有し合ったりして、福島県全体に家庭教育支援の輪が広がることを期待しています。



# 今、地域で家庭を支える 家庭教育支援チームが求められています

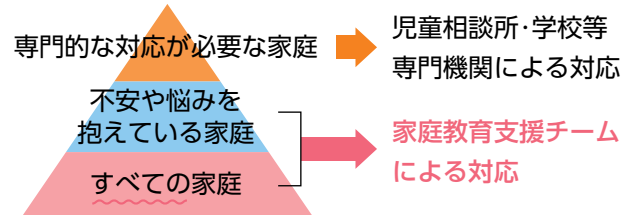
## 家庭教育支援チームとは？

身近な地域での様々な取組や講座等学習機会の提供、親子で参加する行事の実施、子育てや家庭教育に関する相談対応、地域の情報提供等を行います。状況に応じて、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携・協働しながら、子育てや家庭教育を支援します。

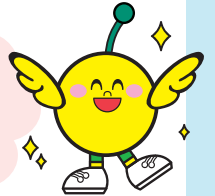
## 構成員は？

地域の実情に応じて、子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成します。

## 支援対象イメージは？



家庭教育支援チームは、「すべての家庭」を対象としていますが、専門的な対応が必要な家庭は専門機関につなぎ、「不安や悩みを抱えている家庭」を主に支援していきます。



## 家庭教育支援チームの活動内容

家庭教育支援チームは、学校、公民館、市町村教育委員会等を活動拠点として、子育て学習会や、親子参加型の行事などの支援活動を行います。また、チーム員が家庭を訪問して個別の相談対応や情報提供を行うことも考えられます。

地域の実情や保護者からの要望、チーム員の得意分野に応じて、こうした活動の中で、できるものから始めていくことも可能です。



## 学びの場(学習機会)の提供

就学時健康診断や保護者会など多くの保護者が集まる機会を活用し、子育てや家庭教育などに関する学習機会を提供します。

例 一日体験入学時の講座、子育て学習会、授業参観における講演

## 地域の居場所づくり(親子参加型行事等の実施)

親子や地域のつながりを深めるために、親子参加型行事を展開します。

例 乳幼児や保護者と中学生のふれあい行事、親子による清掃ボランティア、親子での外遊び

## アウトリーチ型家庭教育支援(保護者や子どもの居場所に出向いて届ける支援)

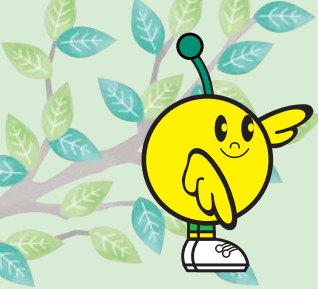
保護者や子どもが抱える不安や悩みに耳を傾け、求めに応じ必要な助言を行います。

例 学校の空き教室等を活用した相談対応、家庭訪問による個別の相談対応(アウトリーチ型)

## 情報提供など

子育てや家庭教育に関する様々な情報(学習機会、親子参加型行事等)を提供します。

例 家庭教育に関する情報紙の発行、家庭訪問による情報紙の配布



# 令和3年度「家庭教育支援チーム」の活動に係る文部科学大臣表彰受賞チーム

## 西会津町家庭教育相談室「こころのオアシス」

活動拠点を置く市町村	福島県耶麻郡西会津町	活動開始年月	2017年9月
活動範囲	西会津町内全域:人口5,859人(2021年11月1日現在)		
構成員	2人(家庭教育コーディネーター1人、家庭教育支援員1人)		
活動形態	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学校生活でつまずきがちな子どもの居場所づくり)		

### 具体的な活動内容



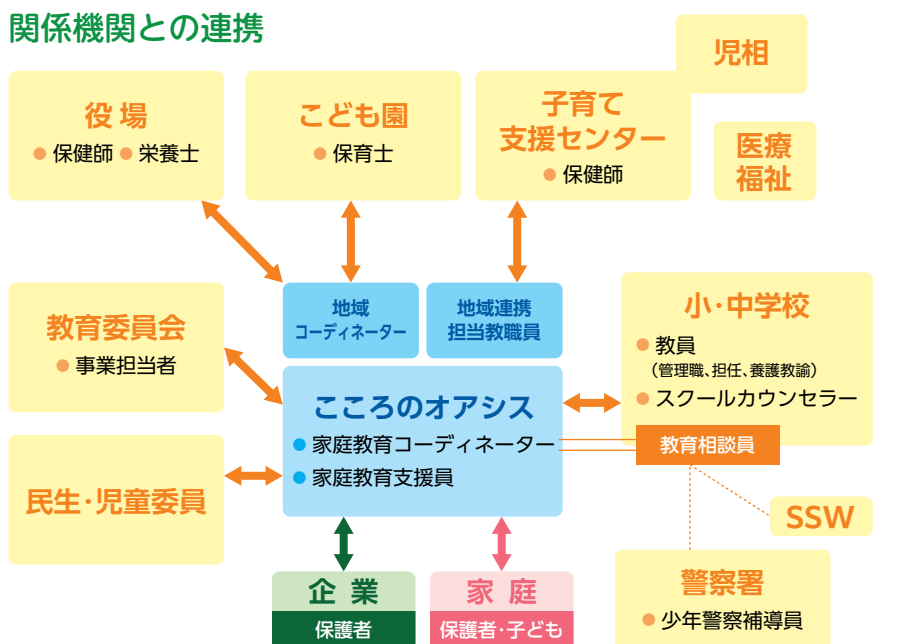
- 気軽に入れる家庭教育相談室の運営  
小学校内に設置された「こころのオアシス」において“じっくり聞いてしっかりつなげる”をモットーに児童・生徒や保護者、地域の方の相談に丁寧に応じ、関係機関と連携しながら相談者の不安解消や継続的な支援につなげている。
- 保護者への学習機会の提供  
家庭教育講座、小学校見学ツアーを開催し、保護者への情報提供を行っている。
- 親子参加型イベントの企画運営  
親子で楽しめる音楽コンサートや親子フリーマーケットを開催している。

### 活動PR

西会津小学校1階にある家庭教育相談室「こころのオアシス」では、子育てや家庭教育に関する悩みなどたくさんの保護者の皆様から相談をお受けしております。最近では、休み時間の子どもたちの居場所としての活用が増えてきており、令和3年度は4月から12月現在まで、のべ270名(子ども220名、大人50名)の方が、相談や面談(気軽なおしゃべりもOK)の目的でご利用になりました。

また、西会津小・中学校はもとより、こども園や子育て支援センター等の関係機関をつなぐハブ的な役割も果たしており、地域にとってなくてはならない存在となっています。

### 関係機関との連携



# 福島県家庭教育支援チーム 登録団体の紹介

令和3年度よりスタートした、「福島県家庭教育支援チーム」に登録している団体を紹介します。

詳しい情報についてはこちらから▶



## 家庭教育インストラクター県南の会

活動拠点 ▶ 白河市

活動範囲 ▶ 県南域内

**活動内容** ■ 保護者に対する学習会、講演、講座の企画運営  
■ 学校・幼稚園・保育所・企業等への訪問による保護者支援 など

**団体PR** 親子体操やおもちづくり、親子で手遊びなどの「子育て講座」や、就学時健診の際の「子育て講話」などを行い、保護者の皆さんの支援を行っています。



## 福島県家庭教育インストラクターさざなみの会

活動拠点 ▶ 県内全域

活動範囲 ▶ 県内全域

**活動内容** ■ 家庭教育インストラクターを対象とした研修や情報交換等の開催 など

**団体PR** 家庭教育インストラクターがよりよい家庭教育支援を行うことができるよう研修を行い、資質向上に取り組んでいます。また、情報交換や各地区の活動への参加により、ネットワーク形成に努めています。

## 福島県家庭教育インストラクター会津さざなみの会

活動拠点 ▶ 会津地区

活動範囲 ▶ 県内全域  
主に会津地区

**活動内容** ■ 保護者に対する学習会、講演、講座の企画運営 ■ 保護者の相談・交流機会の企画運営  
■ 親子の体験活動の企画運営

**団体PR** 学校・幼稚園・保育所・企業等への訪問による保護者支援 など  
**団体PR** 野外活動を通して子どもの「意欲・関心」「人間関係能力」の育成と親子の共同作業体験を通してより良い親子関係の構築を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。



## 喜多方市家庭教育支援チーム “もも”

活動拠点 ▶ 喜多方市中央公民館

活動範囲 ▶ 喜多方市

**活動内容** ■ 保護者に対する学習会、講演、講座の企画運営  
■ 保護者の相談・交流機会の企画運営 など

**団体PR** 「無理をしないで地道に末永く」をモットーに、助けが必要な保護者には、いつでも「もものおばちゃんがいる」としてもらえるような活動を目指しています。今年度は、相談窓口をネットにも設置しました。



## さくら並木の会

活動拠点 ▶ 石川町

活動範囲 ▶ 県内全域

**活動内容** ■ 保護者に対する学習会、講演、講座の企画運営 など

**団体PR** 年に数回お話を開催し、発達障がいやその他の障がい、不登校のお子さんのいるお母さん同士が交流できる場を作っています。お母さんたちと制作した発達障がいの冊子を県内の小学校に配布して、活用していただきたいと思っています。



## 須賀川市家庭教育インストラクターの会

活動拠点 ▶ 須賀川市

活動範囲 ▶ 須賀川市

**活動内容** ■ 保護者に対する学習会、講演、講座の企画運営  
■ 保護者の相談・交流機会の企画運営 など

**団体PR** 就学時健康診断を利用した「子育て講座」や、中学校新入学生保護者説明会を利用した「思春期子育て講座」などを開催しています。また、家庭教育インストラクター研修会、養成研修の実施により、会員の資質向上を図りながら地域の家庭教育の推進に取り組んでいます。



## あいづCAP

活動拠点 ▶ 喜多方市

活動範囲 ▶ 会津地区全域

**活動内容** ■ 保護者に対する学習会、講演、講座の企画運営  
■ 学校・幼稚園・保育所等への訪問による保護者支援 など

**団体PR** CAPとはChild Assault Prevebtion(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、子どもたちが様々な暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。子ども、保護者、教職員等にワークショップを提供しています。

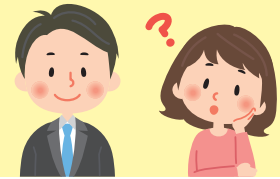




## 専門機関への 橋渡しを

相談対応や情報提供などの取組では対応が難しいケースを、支援チームだけで解決しようとするかえって問題を深刻化させることもあります。このようなケースについては、専門機関と情報を共有し、支援をつなぎます。

不安や悩みを抱えていても相談できずに困っている家庭もあります。家庭教育支援チームでは、はじめから家庭の不安や悩みの解決を目指すのではなく、**まずは耳を傾ける(傾聴すること)**が大切です。



## 家庭教育支援の 充実に向けて

これからは、**アウトリーチ型家庭教育支援(保護者の居場所に出向いて届ける支援)**の充実に期待が寄せられています。

### アウトリーチ型 家庭教育支援 とは？

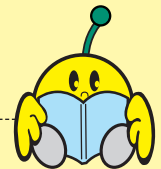
家庭教育支援チーム員が保護者の居場所(自宅や学校、企業等)を訪問して個別の相談に対応したり、情報提供を行ったりする活動のことです。(訪問型の家庭教育支援)

#### 目的

保護者向けの学びの場や相談の場などに足を運ぶことが難しい保護者に、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが個別に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えていくこと。

#### 具体的な取組内容(主なもの)

- ① 保護者からの相談への対応
- ② 保護者に対する情報提供
- ③ 専門機関への橋渡し



(参考:文部科学省「家庭教育支援の具体的な推進方策について」平成29年1月)

## 学校教育担当部局との連携・学校教育担当部局のリード

- アウトリーチ型家庭教育支援を起点とした対応を取っていくためには、アウトリーチ型支援を行うチームを支える**地域のネットワークの構築**が重要です。
- 例えば、不登校や問題行動といった児童生徒の抱える課題には、家庭の養育力や家庭環境が関係している場合もあることから、保護者に対するアプローチが大切です。
- このような課題に対し、アウトリーチ型家庭教育支援を拠点とした早期の対応を取っていくためには、アウトリーチ型支援を行うチームを支える地域の専門機関のネットワークが機能していることが条件となります。そこでは、学校等の教育関係機関や、福祉関係機関をはじめとした関係機関が問題を検討できる場をつくり、スクールソーシャルワーカー(SSW)やスクールカウンセラー(SC)などの専門家が必要に応じて議題をリードしていくことも考えられます。



# 家庭教育支援チームへの登録

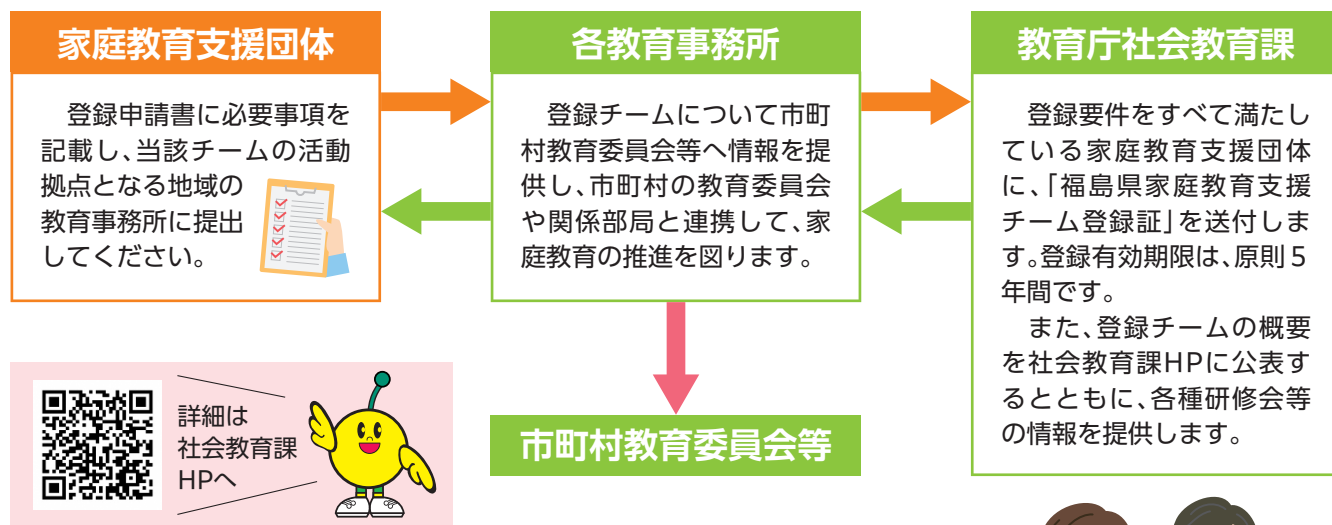
## 「福島県家庭教育支援チーム」登録制度

福島県教育委員会では、「**福島県家庭教育支援チーム**」の登録制度(令和3年4月～)を設けております。家庭教育支援の取組を継続的に行っている団体等であれば、「**福島県家庭教育支援チーム**」に登録できます。



**登録は、2人からでもOKです！たくさんの登録をお待ちしています！**  
福島県教育委員会では、登録チームを増やしていくことで、チーム同士のネットワーク(横のつながり)も強めていきたいと考えています。

### 登録の流れ



### 「家庭教育支援チーム」登録制度(文部科学省)

文部科学省にも登録制度があり、300をこえる団体が登録しています。  
所定の登録申請書に記入し、「福島県家庭教育支援チーム」の登録方法と同様に、地域の教育事務所に提出してください。県内では、令和3年3月現在で、「喜多方市家庭教育支援チーム『もも』」「郡山市家庭教育支援チーム『のびのび子育てサポートチーム』」「西会津町家庭教育支援チーム『こころのオアシス』」「会津若松市会津地区家庭教育支援チーム『福島県家庭教育インストラクター会津さざなみの会』」の4団体が登録されています。



連絡先 **福島県教育庁 社会教育課**

〒960-8688 福島市杉妻町2番16号  
TEL 024-521-7799 FAX 024-521-7974  
(E-mail) k.syakaikyouiku@pref.fukushima.lg.jp

福島県教育庁社会教育課

検索



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/>